

ベナンの風に吹かれて

| | |
|--------|-------------|
| 発表者氏名： | 山崎 有美 |
| 所属学校種： | 宇都宮市立泉が丘中学校 |
| 派遣職種： | 青少年活動 |
| 派遣国： | ベナン |
| 派遣先： | ゾボドメ市役所 |
| キーワード： | 自分らしく生きる… |



発表要旨：

教員という立場ではなく、違った立場で現地の人たちと関わってみたいと考え、青少年活動という職種を選びました。「学校に通えない子供たちを何とかしたい！」そんな思いを抱いてアフリカへ…。しかし、実際現地に行ってその考えの甘さを思い知らされました。結局、一番活躍できたのが学校での活動。そして、一番役に立ったのがやはり教員として自然に身につけていたノウハウ。私の元気の源は子供たちの笑顔でした。たくさんの笑顔に支えられて何とか乗り切りました。



小学校での体育の授業の様子

終わって見れば、あっという間。でも、現地にいる時は悩んでばかり。こんなにあれこれ考えたことは今までにありませんでした。（というより、日本ではこんなにあれこれ考える時間がもてない!？）こんなに思ったことを実行に移すことは今までにありませんでした。（日本では、私がやらなくても誰かがやってくれた!？）

現地の人と同じ家に住み、現地の人と同じ生活をする。そんな当たり前のことがいかに大変なことなのか実感しました。日の出とともに起き、よく食べ、よく寝、よく遊ぶ。そして、日没とともに一日を終える…。うれしければ笑い、悲しければ泣く。日本にいるときよりも人間らしく生きた2年間でした。



学校へ通っていない女性のための識字教室の様子

自分に何ができたのか？それでよかったのか？その答えはまだ見つかっていませんが、私にとっては、忘れられない最高の2年間でした。そして、現場に戻った今、これからが私にとって本当の意味での活動のスタートです。